

各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性に関する研究委員会

平成25年度 第2回 議事録

日 時	平成25年 10月22日 (火) 10:00~11:50			場 所	地盤工学会 会議室			
委員長	規矩 大義	○	幹事長	利藤 房男	○	WG1リーダー	規矩 大義	—
WG1幹事	吉澤 大造	○	WG1委員	石川 敬祐	×	WG1委員	伊集院 博	○
WG1委員	小濱 英司	×	WG1委員	澤田 亮	○	WG1委員	中澤 博志	○
WG1委員	平出 務	○	WG2リーダー	末政 直晃	×	WG2幹事	田中 剛	○
WG2委員	尾上 篤生	○	WG2委員	金 哲鎬	×	WG2委員	久世 直哉	×
WG2委員	菅野 安男	○	WG2委員	西岡 佑介	○	WG2委員	水谷 羊介	×
WG3リーダー	菊池 喜昭	×	WG3幹事	平林 弘	○	WG3委員	國生 剛治	×
WG3委員	後藤 政昭	×	WG3委員	須々田 幸治	×	WG3委員	高田 徹	○
WG3委員	谷本 俊輔	○	WG3委員	西村 真二	○	WG3委員	宮坂 享明	×
WG3委員	室山 拓生	×	WG3委員	利藤 房男	—	地盤試験所	岡 信太郎	○

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

1. GEO-KANTO 報告【資料-1】

- 第 10 回 GEO-KANTO (10/4 開催) の JGS 関東支部研究委員会の活動報告のセッションで、本委員会の活動報告がなされた旨、報告があった。
- セッションの討議では、地盤工学会本部でやること、関東支部でやることに関する議論があった。本委員会も 3.11 の関東地方での液状化被害を踏まえ関東支部で設立したが、委員会の成果は全国に発信したい旨伝えた。

2. ワーキング報告【資料 2-1~2-3】

(1) ワーキング 1 (吉澤幹事から報告)

- 調査方法の選定フローまでは出来なかったが、選定表は仕上がった。選定フローにはこだわらないで、何が出来るかを分かるものにできればよい。
- 打撃エネルギーと適用深度の目安が出来た。ISO に規定されている動的コーンのエネルギーとの対比は、今回の資料にはないがワーキング資料では出来ている。
- サンプリングは動的貫入だけが対象にしているものではないが、これがやはり問題である。
- 各種基準における液状化に関する調査内容とサウンディングの適用性を整理した。

(2) ワーキング 2 (田中幹事から報告)

- 静的貫入試験の論文収集方法が検討され、担当を決定した。収集は、過去 20 年分とした。論文一覧表の様式は、ワーキング 3 の一覧表に準じる。
- 12 月に実施される現地実験に関して検討した。
  - ・自動スウェーデンは、日東精工、YBM、立川機械、報告エンジニアに参加要請する予定である。

様々な試験を行いたいので、十分な調査面積を確保してほしい。大島委員会から参加する SWS 系の参加企業と調整が必要になる。

- ・粘性土の自沈層があるようなら、自沈の観点で調査したい。
- ・可能なら、全てのマシンのトルク測定を実施したい。
- ・サンプリングを実施したい。
- ・地下水位の測定方法は 3 種類あるので、地下水位の測定も行いたい。
- ・スクリーポイントについて、摩耗したものと新品の比較を行いたい。摩耗したものは 3mm ではなく、2mm 程度を考えたい。複数個所での比較検討が必要との意見もあり。

### (3) ワーキング 3 (平林幹事から報告)

- 論文の取りまとめ結果が報告された。
- 12月の現地実験では、CPTの液状化判定方法の違いによる判定結果を比較検討したい。
- 地盤試験所の岡様が委員会に参加。現場実験は参加の方向で検討するとの事。

### 3. 現地実験計画【資料 3-1~3-2】

- 谷本委員会から、現地実験場所の概要、更に土地変遷履歴の説明があった。その後、利藤幹事から、現地実験計画の説明があった【説明内容は、委員会資料参照】。
- 地点 1 は深度 12m 程度まで浚渫の砂質土。利根川に限らず、昔の地形図には水深表示があるようである。これにより、当時の河川が-12m 程度まで掘り下げられ、昭和になって浚渫で埋立てられたことが分かる。地点 2,3 はもとから河川の低地で浚渫はなく沖積砂質土が分布することが予想される。
- サウンディング実施する格子は(資料 3-2 (77p) 図-2)、参加企業が多い場合は紙面の上下方向に格子を広げる。ボーリングの位置は固定で動かさない。
- 表面波探査を実施したらどうかの意見があり、応用地質で実施の方向で検討する。
- 基準ボーリングで沖積粘性土が出た場合は、固定ピストン式サンプラーを用いて採取する。スウェーデンの自沈の研究との関係もあり、強度試験も実施する方針とする。
- 見学会は、12月6日(金)に実施する。午前と午後に分け、2回行う事を検討する。参加者は、委員会メンバーに限らず、希望者は自由に参加できることとする。土地を借用する国交省利根川河川事務所、香取市にも参加を呼びかける。懇親会を実施するかどうかも検討する。

### 4. その他

- 次回の委員会は、来年 2 月頃を想定。幹事の方から、後日連絡を入れる。